

印刷業のクラビス（新潟市、浅川進社長）は、同社が考案したご当地ヒーロー「超耕（ちようこう）21ガッター」のキャラクターグッズを発売する。フィギュ

クラビス

アール写真などを観光地の土産物店やガッターのショー会場で販売する。同社はガッターでキャラクタービジネスに参入しており、グッズの販売で収益拡大を目指す。

ご当地ヒーロー「超耕21ガッター」

キャラクターグッズ発売

フィギュア（税別1200円）のほか、携帯ストラップ（450円）やキーホルダー（400円）、シール（300円）、クッキー（648円）などを販売。一部商品はすでに発売しており、10月末までに順次投入する。

ガッターは新潟県のコメを食い荒らす宇宙怪人から新潟のコメと平和を守るという設定で、柿の種類の鎌（かま）など新潟の名産品をモチーフとした武器で戦うキャラクター。県内でシヨールなどを開き、認知度が高まっている。



ガッターの著作権を管理するクラビスは、グッズ販売によるメーカーからのライセンス収入などを新たな収益源とする。